

USB FD & Memory Card Reader / Writer UNIT

**USB FD & メモリカードリーダー/ライターユニット
ユーザーズマニュアル**

Logitech

目次

取扱い上のご注意	2
ごあいさつ	3
ご注意	3
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書	4
付属品の確認	7
第1章 はじめに	8
1.1 製品の概要	8
1.2 使用環境について	10
1.3 使用可能メディア	12
1.4 各部の名称と機能	14
1.5 パソコンとの接続について	16
1.6 メディアのセットと取り出し	18
第2章 Macintosh 環境でご使用になる場合	23
2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合	23
2.1.1 使用可能ディスクとフォーマット形式	23
2.1.2 ドライバのインストール	25
2.1.3 補足事項	32
2.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合	34
2.2.1 ドライバのインストール	34
2.2.2 使い方について	40
2.2.3 補足事項	42
第3章 Windows 環境でご使用になる場合	44
3.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合	44
3.1.1 使用可能ディスクとフォーマット形式	44
3.1.2 接続とドライバのインストールについて	45
3.1.3 取り外しについて	51
3.1.4 フォーマットについて	52
3.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合	53
3.2.1 接続/インストールの際の注意	53
3.2.2 ドライバのインストール	53
3.2.3 メディアの取り出しについて	56
3.2.4 取り外しについて	59
3.2.5 メモリカードご使用の際の注意事項	62

第4章 Windows CE 環境でご使用になる場合	63
4.1 使用環境	63
4.2 ドライバのインストール	65
4.2.1 ホストパソコンを使用する場合	66
4.2.2 ドライバをダウンロードする場合	68
4.3 接続について	71
4.4 補足事項	72
第5章 補足事項	74
5.1 トラブルシューティング	74
5.1.1 フロッピーディスクユニットに関するトラブル	74
5.1.2 メモリカードリーダー/ライターユニットに関するトラブル ..	77
5.1.3 その他：弊社ホームページについて	81
ハードウェア仕様	82

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

ケースは絶対に分解しないでください。内部には感電の危険性がある部分もあります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



分解禁止

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。



水濡れ禁止

衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。



その他の注意事項

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。



その他の注意事項

ごあいさつ

この度は弊社フロッピーディスク+メモ리카ードリーダー/ライターユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は本製品に関する設定/接続方法、機能/仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境でデータがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって失われた場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

本書で使用する略語について

- ・ 「Windows Powered Handheld PC 2000 (日本語版)」を「Windows Handheld PC 2000」と表現することがあります。「Windows CE, Handheld PC Professional Edition, Version 3.0 (日本語版)」を「Windows CE H/PC Pro3.0」と表現することがあります。またこの2つをあわせて「Windows CE」と表現することがあります。
- ・ 「Windows Handheld PC 2000搭載のパソコン」、または「Windows CE H/PC Pro3.0搭載のパソコン」を「ハンドヘルドパソコン」と表現することがあります。
- ・ 「USBポートを搭載したWindowsXP / Me / 98 / 2000搭載のノートパソコン」を「ノートパソコン」と表現することがあります。

付属品の確認

フロッピーディスク+	
メモ리카ードリーダー/ライターユニット 1台
USB 2.0 Highspeed 対応ケーブル	
（シリーズ A - mini B） 1本
「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROM 1枚
ユーザーズマニュアル 本書
保証書 1枚

- * Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。
- * Apple、Macintosh、Mac、PowerBook、iMac、eMac、iBook、MacOS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- * PC-9800 は日本電気株式会社の商標です。
- * 本書に記載されているパソコン名等は、併記された各社の商標または登録商標です。

第 1 章

はじめに

1

1.1 製品の概要

本製品は、USB 2.0 接続タイプの 4 つのメモ리카ードスロットを搭載した外付け型 FD ユニットです。本製品の主な特徴は以下の通りです。

USB ポートに接続するタイプのフロッピーディスクユニットですので、フロッピーディスクドライブを持たないサブノートパソコンなどに最適です。

フロッピーディスクの他、主要なメモ리카ードを全てカバーしています。使用可能なメディアについては「1.3 使用可能メディア」をご参照ください。

フロッピーディスクドライブは USB 1.1 に、メモ리카ードスロットは USB 2.0 に対応しています。

インターフェースとして USB(Universal Serial Bus)を採用しているため、パソコン本体の電源が ON になっている状態で着脱可能です。あらかじめドライバをインストールしておけば、接続するだけですぐに使用することができます。



ご注意

インストールしなければいけないドライバは、フロッピーディスクユニットと、メモ리카ードリーダー/ライターユニットで異なります。また、接続方法についても、各ユニットを使用する場合は異なりますのでご注意ください。

電源はパソコンの USB ポートから供給されます。AC アダプタ等の接続は必要ありません。

コンパクトなデザインで設置に場所を取りません。



ご注意

本製品はフロッピーディスクユニットを使用する場合と、メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合は、使用するケーブルが異なります。

- ・ フロッピーディスクユニットを使用する場合は本製品に直付けされている USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続してください。
- ・ メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合は、付属のケーブルを使用して本製品背面の USB miniB コネクタとパソコンの USB ポートを接続してください。

原則的に本製品のフロッピーディスクユニットからのシステム起動はできません。(ただし、パソコン本体の機能として、USBフロッピーディスクからのシステム起動が保証されている場合に限り、システム起動を行うことができます。)

フロッピーディスクユニットとメモリカードリーダー/ライターユニットを同時に使用する場合、パソコンの USB ポートを 2 ポート使用します。また、それぞれのポートからパワァーによる電源の供給が必要となります。

本製品を USB ハブに接続している場合は、必ず USB ハブをセルフパワー (USBハブに AC アダプタを接続して独立した電源を取ること) でご使用ください。USB ハブをバスパワー (USB コネクタから電源を取ること) で使用すると、電流不足のため正常に動作しません。

特殊なフォーマットを施されたメディアは、取り扱えない場合があります。

1 . 2 使用環境について

対応パソコン

本製品は、以下のパソコン本体に接続して使用可能です。USB ポートを搭載している機種に限定されます。また、メモ리카ードを USB 2.0 の High-Speed での転送を実現するためにはご使用のパソコン側に USB 2.0 ポートが搭載されているか、増設可能でなくてはなりません。

Macintosh 環境の場合

iMac、	eMac、
Power Mac G5、	Power Mac G4、
Power Mac G4 Cube、	Power Macintosh G3 (Blue and White)
iBook G4、	iBook
PowerBook G4、	PowerBook (FireWire)
PowerBook G3 (BronzeKeyboard)	

Windows 環境の場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

Windows H/PC 2000 搭載パソコン()

Windows CE H/PC Pro 3.0 搭載パソコン()

これらのパソコンでは、メモ리카ードリーダー/ライターユニットは使用できません。フロッピーディスクユニットのみご使用になれます。

対応 OS

本製品は、以下のOSで使用することができます。すべて日本語OSのみに限定されます。また、パソコン本体や接続するI/Fが対応していないOSでは使用することができません。

Macintosh 環境の場合

Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 まで

Mac OS X 10.1.2 以降 ()

フロッピーディスクドライブはMac OS X 10.1以降からご使用になれます。

Windows 環境の場合

Windows XP Home Edition/Professional

Windows Me

Windows 98 (Second Edition を含む)

Windows 2000 Professional

Windows Powered Handheld PC 2000 ()

Windows CE Handheld PC Professional Edition version 3.0 ()

これらのOSは、メモリーカードリーダー/ライターユニットは使用できません。フロッピーディスクユニットのみご使用になれます。

1 . 3 使用可能メディア

本製品で使用可能なメモリカードは以下の通りです。

(1) メモリースティック / メモリースティック PRO

(2) SDメモリーカード / マルチメディアカード



ご注意

- ・メモリースティックとメモリースティック PROとの同時使用はできません。
 - ・SDメモリーカードとマルチメディアカードとの同時使用はできません。
 - ・本製品でメモリースティック、メモリースティック PRO、SDメモリーカードの著作権保護機能にアクセスすることはできません。
-

(3) SmartMedia

本製品では、以下の条件にあったSmartMediaを使用することができます。(ID 付きも含む)

容量	4MB ~ 128MB
電源仕様	3.3V 仕様



ご注意

- ・2MBのSmartMediaはご使用になれません。使用可能なSmartMediaは4MB ~ 128MB (3.3V 仕様) のものとなります。
 - ・本製品で5V仕様のSmartMediaを使用することはできません。
 - ・SmartMediaは、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これをWindows標準のフォーマットなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。
 - ・本製品ではID機能はサポートされていません。ID付きSmartMediaを使用した場合は通常のメディアとして認識されます。
-

(4) CompactFlashカード / microdrive / CF Type HDカード

本製品では CompactFlash Association に準拠した CompactFlash カード、1GB / 340MB / 170MB の microdrive および、CF Type HD カードを使用することができます。



ご注意

- ・ CompactFlash カードと microdrive と CF Type HD カードとの同時使用はできません。
-



ご注意 (共通)

- ・ 本製品で microdrive、CF Type HD カードを使用する場合は、それ以外のメモリーカードを本製品から取り出しておく必要があります。(ただし、フロッピーディスクは同時にセットしていても問題ありません)
 - ・ 本製品でフォーマットを行うと、デジタルカメラから認識されなくなる場合があります。各メモリーカードを、デジタルカメラ等でも使用される場合には、本製品では絶対にフォーマットを行わないで下さい。
-



ポイント：フロッピーディスクについて

フロッピーディスクは使用する OS により、使用可能なディスクのタイプ、フォーマット形式が異なります。詳細については、各 OS での使用方法のページで説明しておりますので、ご使用の際にご確認ください。

1 . 4 各部の名称と機能

メモ리카ードリーダー/ライターユニット電源兼アクセス表示ランプ

メモ리카ードリーダー/ライターユニットがパソコンに接続され、電源が供給されるとオレンジ色に点灯します。

また、各メモ리카ードスロットにメモ리카ードをセットしアクセスが行われると点滅します。

SmartMedia 用スロット

SmartMedia カードをセットするスロットです。

CompactFlash 用スロット

CompactFlash、microdrive、CF Type HD カードをセットするスロットです。

SD メモリーカード用スロット

SD メモリーカード、マルチメディアカードをセットするスロットです。

メモリースティック用スロット

メモリースティック、メモリースティック PRO をセットするスロットです。

FD 挿入口

フロッピーディスクをセットする部分です。

FD アクセス表示ランプ

セットしたフロッピーディスクにアクセスが行われると緑色に点滅します。

FD イジェクトボタン

セットしたフロッピーディスクを取り出す際に使用します。取り出しを行う際は FD アクセス表示ランプが点滅していないことを確認してください。

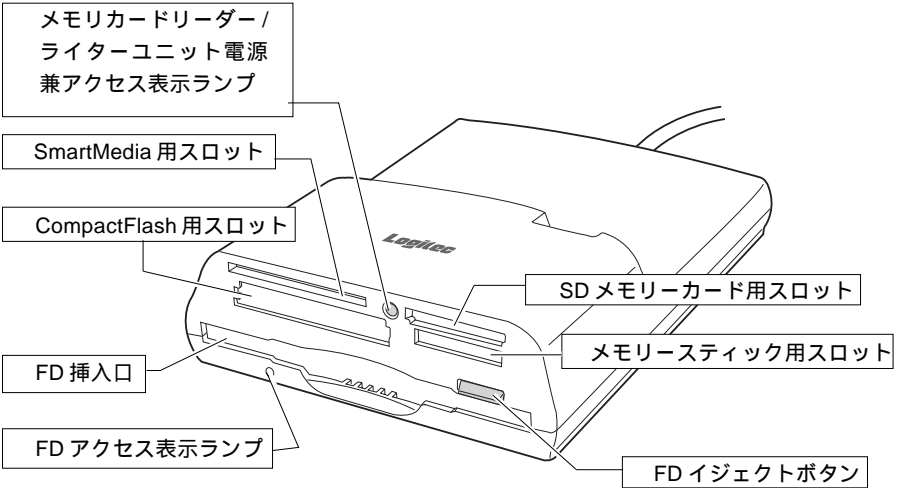
USB mini-B コネクタ

メモ리카ードリーダー/ライターユニットを使用する場合に、付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

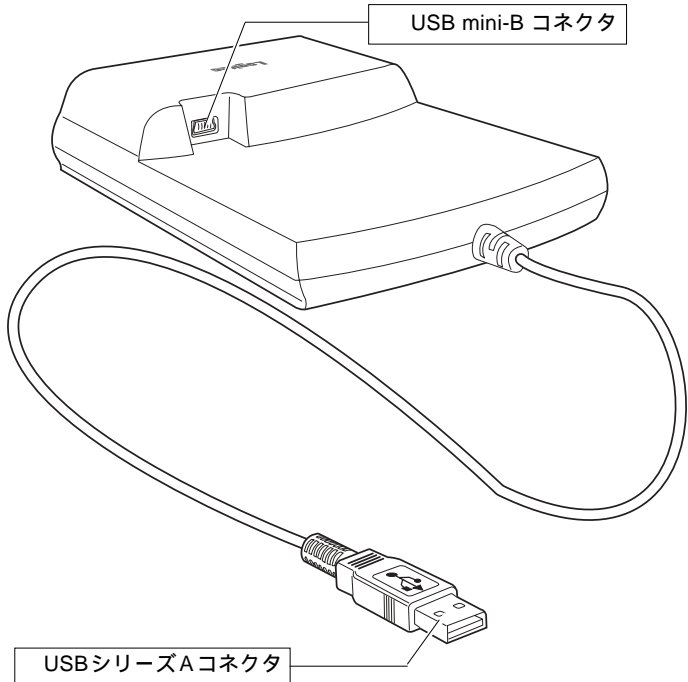
USB シリーズ A コネクタ

フロッピーディスクユニットを使用する場合に、このコネクタをパソコン本体の USB ポートと接続します。

前面部



背面部



1.5 パソコンとの接続について

1

本製品とパソコンとの接続は、フロッピーディスクユニットを使用する場合とメモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合とで使用する USB ケーブルが異なります。以下をご参照ください。

1. フロッピーディスクユニットを使用する場合

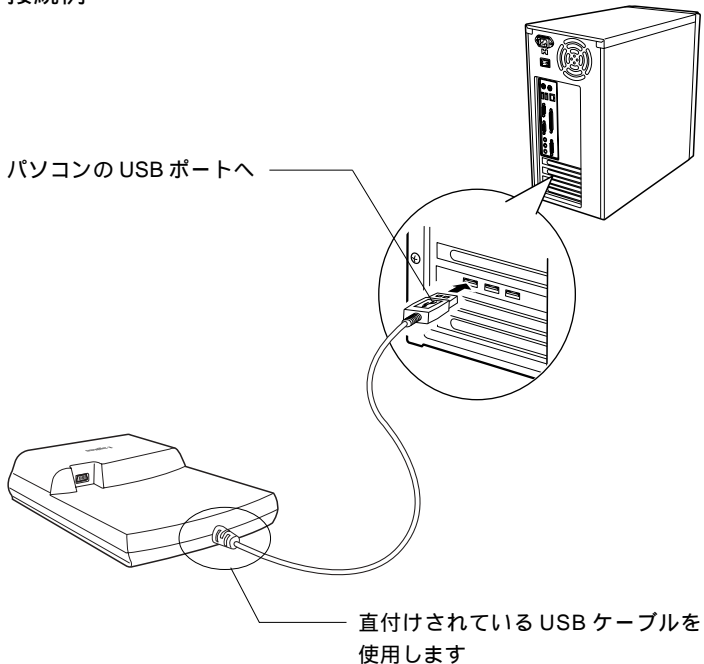
この場合、本製品に直付けされている USB ケーブルを直接パソコンの USB ポートへ接続してください。(下図参照)



ご注意

ご使用の OS によっては、本製品を接続する前にドライバのインストールが必要になります。詳しくは第 2 章以降をご参照ください。

接続例



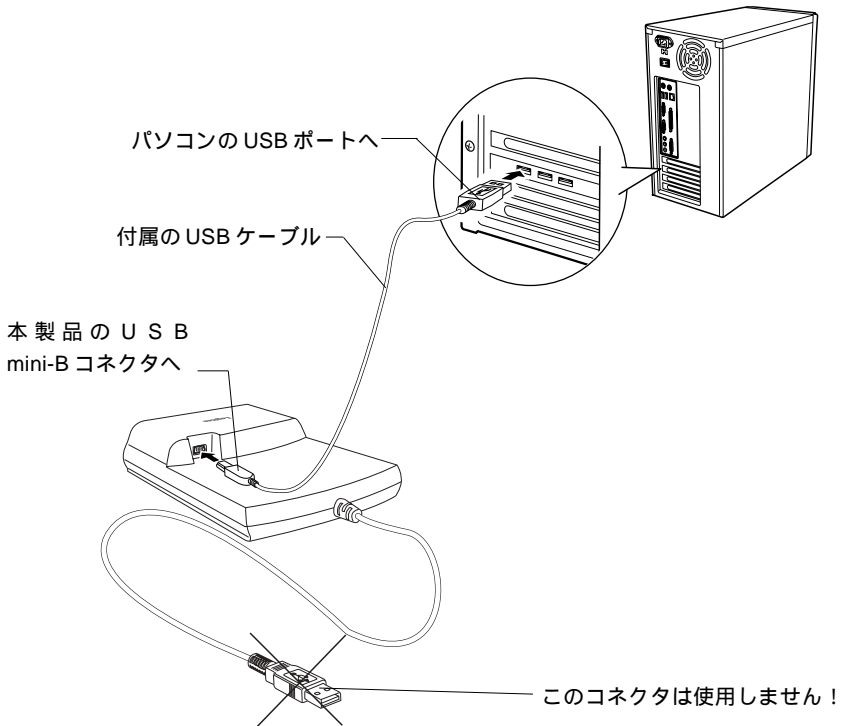
2. メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

この場合、付属のUSBケーブルを使用して本製品のUSB mini-BコネクタとパソコンのUSBポートを接続してください。(下図参照)



ご注意

ご使用のOSによっては、本製品を接続する前にドライバのインストールが必要になります。詳しくは第2章以降をご参照ください。



接続例に使用しているパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、USBポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのUSBポートを確認して接続してください。

1.6 メディアのセットと取り出し

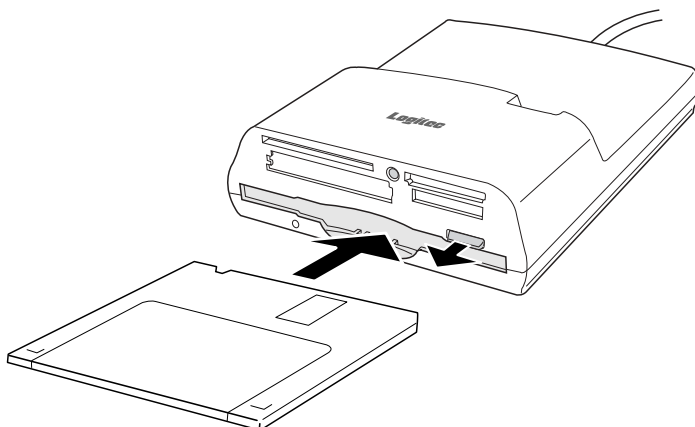
ここでは、本製品で使用可能なメディア(代表的なもの)のセット方法と取り出し方法を説明します。

⚠️ ご注意

本製品がパソコン本体に接続されている状態でメディアの取り出しを行う場合、いくつか重要な注意事項があります。これらの注意事項は第2章以降で使用環境ごとに説明させていただいておりますので、必ずご参照ください。

フロッピーディスクのセット方法

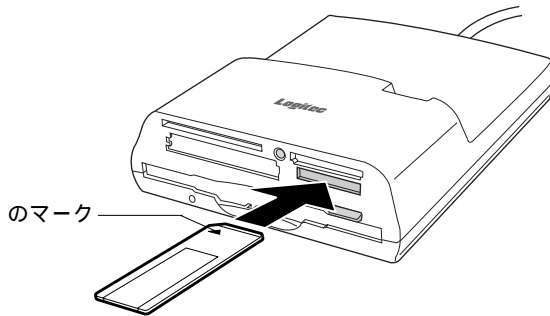
フロッピーディスクをセットする場合は、下図のような方向でフロッピーディスク挿入口に挿入してください。正しくセットできると、イジェクトボタンが5mmほど突き出します。



フロッピーディスクを取り出す場合は、**FDアクセス表示ランプが点灯していないことを確認してから**、イジェクトボタンを押してください。フロッピーディスクが排出されますので、静かに引き出してください。

メモリースティックのセット方法

本製品にメモリースティックをセットする場合には、接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにメモリースティック用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。メモリースティックが約25ミリほど飛び出した状態になります。

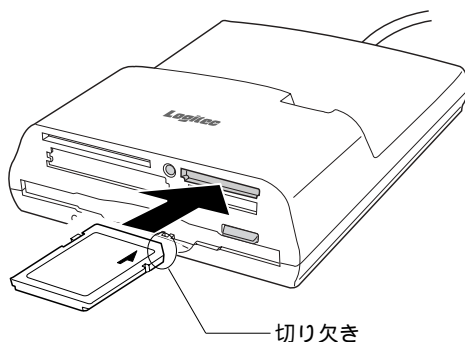


メモリースティックを取り出す場合には、**メモリーカードリーダー/ライターユニットアクセス表示ランプが点滅していないことを確認してから**、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、接点には触れないでください。

メモリースティック PROの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。

SDメモリーカードのセット方法

本製品にSDメモリーカードをセットする場合は接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにSDメモリーカード用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないで下さい。SDメモリーカードが約15ミリ程飛び出した状態になります。

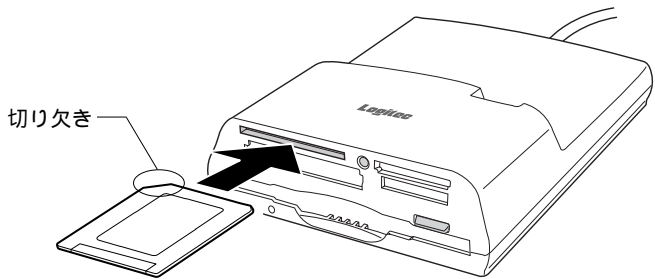


SDメモリーカードを取り出す場合には、**メモリーカードリーダー/ライターユニットアクセス表示ランプ**が点滅していないことを確認してから、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも接点には触れないでください。

マルチメディアカードの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。

SmartMedia カードのセット方法

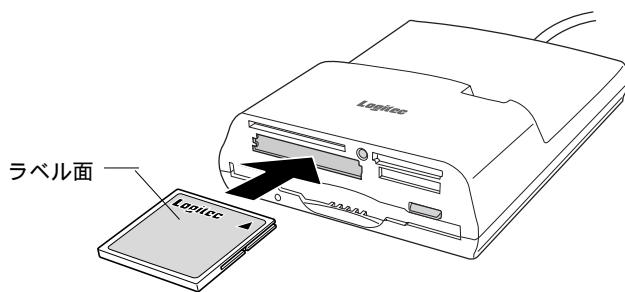
本製品に SmartMedia カードをセットする場合には、カードの接点(金メッキが施されている部分)側を下にして、カードの切り欠きを奥に向けて、SmartMedia 用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。カードが約5ミリほど飛び出した状態になります。



カードを取り出す場合には、**メモリーカードリーダー/ライターユニットアクセス表示ランプが点滅していないことを確認してから**、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、カードの接点に触れないように注意してください。

CompactFlash カードのセット方法

本製品に CompactFlash カードをセットする場合にはラベル面を上にして CompactFlash 用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。カードが約 14 ミリほど飛び出した状態になります。



CompactFlash カードを取り出す場合には、**メモリーカードリーダー/ライターユニットアクセス表示ランプが点滅していないことを確認してから、そのまま静かに引き抜いてください。**

microdrive、CF Type HD カードの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。



ご注意

- ・本製品で microdrive、CF Type HD カードはその他のメモリーカードと同時に使用することはできません。microdrive、CF Type HD カードのみ本製品にセットしてください。
- ・本製品はコンパクトサイズのため、仕様上、各スロットの位置が近接しております。そのため、Smart Media スロットおよび Compact Flash スロットにメディアを同時にセットした場合、Smart Media が取り出しにくい状態になります。Compact Flash と Smart Media を同時にセットした場合は、初めに Compact Flash を取り外し、その次に Smart Media を取り外してください。

第2章

Macintosh®環境で ご使用になる場合

2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

ご注意



- ・本製品はオートイジェクト機能を持っていません。フロッピーディスクの取り出しは前面のFDイジェクトボタンで行います。
- ・複数のフロッピーディスクを使う一部のアプリケーションで、従来のMacintoshシリーズ内蔵フロッピーディスクドライブを前提として作成されているものでは、フロッピーディスクの交換ができない場合があります。
- ・コピープロテクトなどの目的で、特殊なフォーマットを施されたフロッピーディスクは、取り扱えない場合があります。

2

2.1.1 使用可能ディスクとフォーマット形式

Macintosh環境で使用可能なディスクおよびフォーマット形式は下表の通りです。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 までの場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.4 MB Macintosh		
	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800	×	×
	1.4 MB ProDOS	×	×
2DD	800KB Macintosh	×	×
	720 KB DOS / V		
	640KB PC - 9800	×	×

Mac OS X の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.4MB Macintosh		1
	1.4MB ProDOS	×	×
	1.44MB DOS/V		1 2
	1.25 MB PC - 9800	×	×
2DD	800KB Macintosh	×	×
	720KB DOS/V		1 2

2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

2.1.1 使用可能ディスクとフォーマット形式

- 1 Mac OS X 10.3以降でフォーマット可能です。フロッピーディスクのフォーマットには、Mac OS X 標準の「ディスクユーティリティ」をお使いください。未フォーマットのフロッピーディスクはフォーマットできません。Mac OS X ではないMac OS の環境でフォーマットしたフロッピーディスクをお使いください。
- 2 「ディスクユーティリティ」にてMS-DOS形式でフォーマットを行う場合、ボリューム名を半角英数字で11文字までにする必要があります。

2



ご注意

- ・ フォーマットのダイアログでは「1.4M ProDOS」が項目として表示されますが、正常にフォーマットできませんので選択しないでください。
 - ・ DOS/Vパソコンの形式でフォーマットされたフロッピーディスクを使用するためには、MacOS 標準のユーティリティ「File Exchange」を使用する必要があります。
-

2.1.2 ドライバのインストール

Point

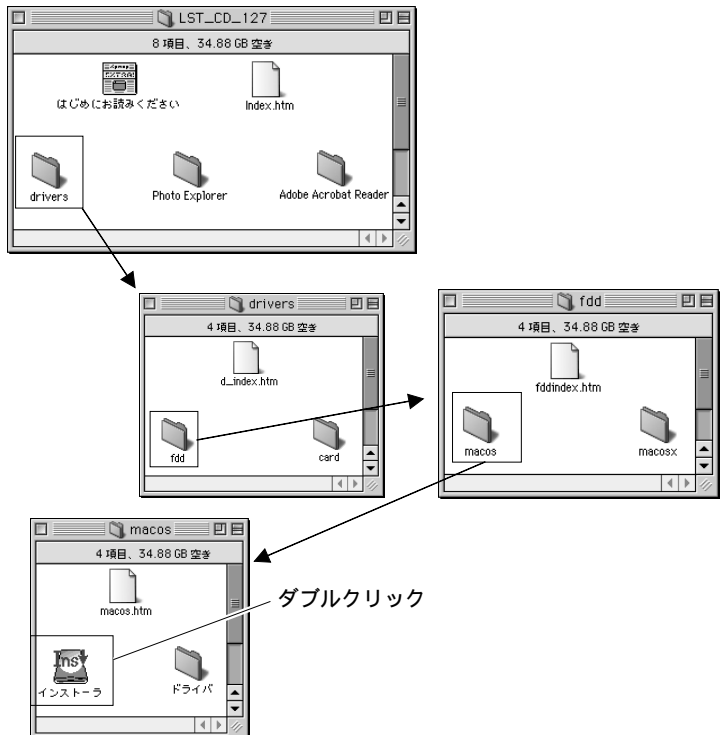
フロッピーディスクユニットを使用する場合は、本製品を接続する前に以下の手順で付属のドライバのインストールを行います。インストール方法はMac OS 9.2.2までとMac OS Xの場合で異なりますので、使用環境に応じて、該当の箇所をご参照ください。

Mac OS X 10.2以降をお使いの方はOS標準ドライバで動作しますので、ドライバのインストールは必要ありません。本製品背面に直付けされているUSBケーブルを使用してパソコンと接続すれば使用可能となります。

Mac OS 9.2.2までの場合のインストール手順

Macintoshシリーズのシステムを起動して、CD-ROMドライブに本製品付属のCD-ROM「Logitech LFD-CA31U Drivers」をセットして、マウントされたアイコンをダブルクリックしてください。

下のウィンドウが開いたら、「drivers」「fdd」「mac os」とフォルダを展開し、「mac os」フォルダ内に保存された「インストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

2.1.2 ドライバのインストール

インストーラが起動して、タイトルウィンドウが開きます。「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

注意事項や著作権と制限事項が表示されます。内容を確認して「続ける」ボタンをクリックします。

著作権と制限事項に同意しない場合は、「続ける」ボタンをクリックした後に表示される次の画面で「終了」ボタンをクリックすることで、インストールを中止することができます。

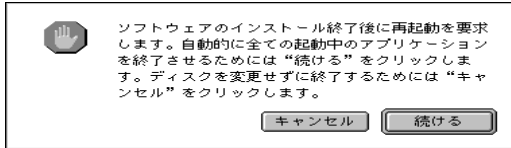


インストール確認画面が表示されます。「お読みください」ボタンをクリックして表示される先ほどの注意事項や、著作権と制限事項に同意する場合は、「インストール」ボタンをクリックします。

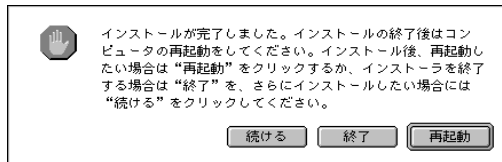
著作権と制限事項に同意しない場合は「終了」ボタンをクリックし、インストールを中止します。



インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、以下のような警告メッセージが表示されます。他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「続ける」ボタンをクリックしてください。



必要なドライバがシステムフォルダに転送されます。作業が終了すると、以下のウィンドウが表示されますので、「再起動」ボタンをクリックして、システムを再起動してください。



システムが再起動したら、インストールは完了です。この後は、本製品の背面に直付けされているUSBケーブルをコンピュータのUSBポートへ接続すれば、自動的に認識され使用可能な状態になります。

フロッピーディスクユニットにフロッピーディスクをセットすると右のようなアイコンがデスクトップにマウントされます。このアイコンをダブルクリックすることによりディスク内のデータにアクセスすることができます。



2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

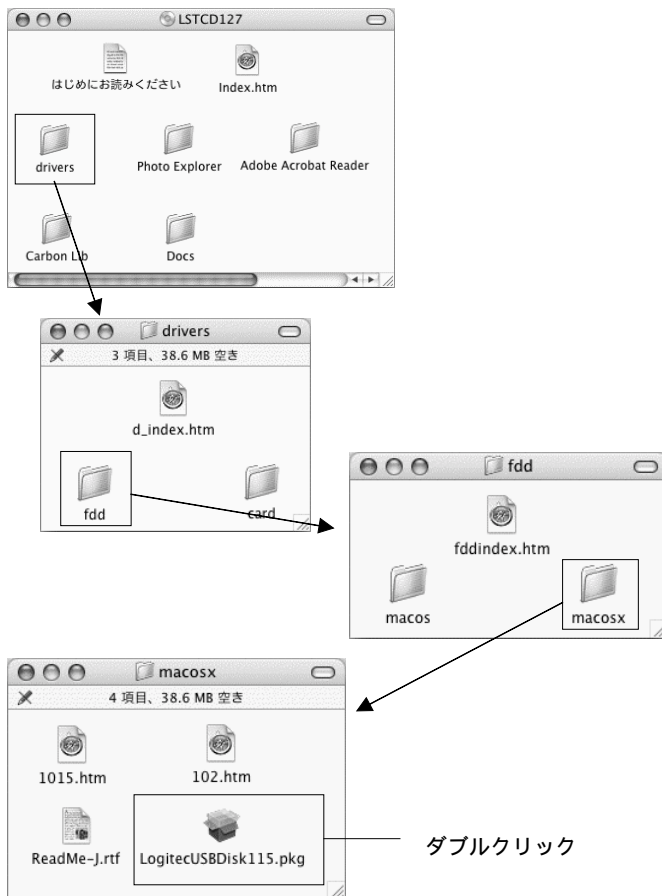
2.1.2 ドライバのインストール

Mac OS X 10.1 ~ 10.1.5でのインストール手順

Mac OS X 10.2以降をご使用の場合はOS標準のドライバで操作しますので、本手順によるドライバのインストールは必要ありません。

Macintosh シリーズのシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属のCD-ROM「Logitech LFD-CA31U Drivers」をセットしてマウントされたアイコンをダブルクリックしてください。

下のウィンドウが開いたら、「drivers」「fdd」「macosx」とフォルダを展開し、「macosx」フォルダ内に保存された「Logitech USBDisk115.pkg」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



以下のメッセージが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

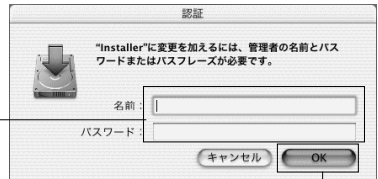


2

以下のウィンドウが表示されます。管理者として登録されているユーザーの「名前」と「パスワード」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ユーザー名とパスワードを入力

2. クリック



インストールプログラムが起動し、以下のウィンドウが表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。

「続ける」をクリック



2.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

2.1.2 ドライバのインストール

右のウィンドウが表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。

「続ける」をクリック



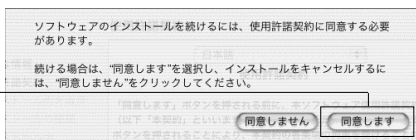
使用許諾契約のウィンドウが表示されます。内容を確認して「続ける」ボタンをクリックしてください。

「続ける」をクリック



以下のウィンドウが表示されます。使用許諾契約の内容に同意する場合は「同意します」ボタンをクリックしてください。

「同意します」をクリック



「同意しません」を選択した場合、インストールは中止されます。

インストール先のボリュームを選択するウィンドウが表示されます。インストール先のドライブをクリックし、「続ける」ボタンをクリックしてください。

1. インストール先の
ドライブをクリック

2. 「続ける」をクリック

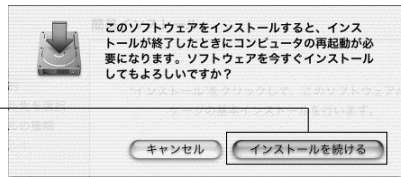


右のウィンドウが表示されたら「インストール」ボタンをクリックしてください。



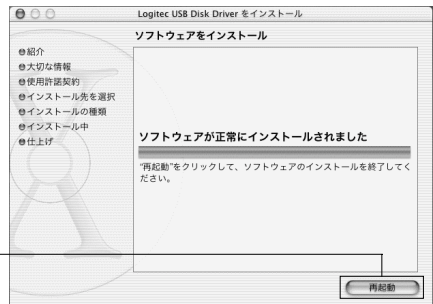
「インストール」をクリック

確認のメッセージが表示されます。他のプログラムが起動していないことを確認して、「インストールを続ける」ボタンをクリックしてください。



「インストールを続ける」
をクリック

インストールが終わると、以下のウィンドウが表示されます。「再起動」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。



「再起動」をクリック

システムが再起動したら、インストールは完了です。この後は、本製品の背面に直付けされているUSBケーブルをコンピュータのUSBポートへ接続すれば、自動的に認識され使用可能な状態になります。

フロッピーディスクユニットにフロッピーディスクをセットすると右のようなアイコンがデスクトップにマウントされます。このアイコンをダブルクリックすることによりディスク内のデータにアクセスすることができます。



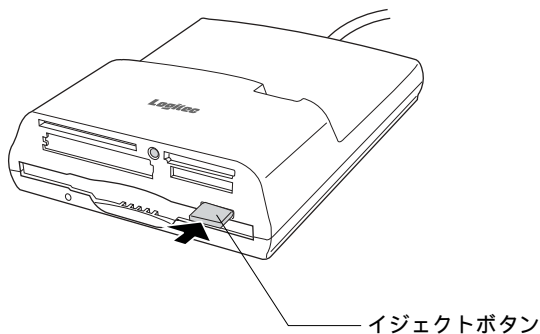
2.1.3 補足事項

フロッピーディスクを取り出す時は・・・

フロッピーディスクを取り出す時は、必ずフロッピーディスクをアンマウントしてください。アンマウントは以下のどれかの方法で行います。

- ・ デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS Xの場合は「ファイル」メニューの「取り出し」を選択)
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル + E」キーを入力する。

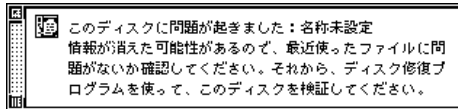
いずれの方法でアンマウントした場合も、フロッピーディスクのアイコンがデスクトップから消えます。この状態で本製品前面のイジェクトボタンを押して、フロッピーディスクを取り出してください。





ご注意

- ・ Macintosh本体がスリープ状態にある時は、フロッピーディスクを取り出さないでください。
- ・ アンマウントせずにフロッピーディスクを取り出したり、USB コネクタを外すと、以下のようなエラーメッセージが表示されます。これが表示された場合は、速やかにフロッピーディスク / USB コネクタを元に戻してください。



本製品を取り外す場合は

本製品はUSB インターフェースを採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONになっている状態での取り外し)が可能です。ただし、以下の点にはご注意ください。

本製品を取り外す場合は、必ずすべてのフロッピーディスクをアンマウントして、本製品から取り出しておいてください。

2.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

2.2.1 ドライバのインストール

Point

メモリーカードリーダー/ライターユニットを使用する場合も、本製品を接続する前にまず付属のドライバのインストールを行います。インストールはMac OS 9.2.2までの場合と、Mac OS X 10.1.2以降の場合で異なります。ここでは順番に説明いたしますので必要な部分をご参照ください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2でのインストール手順

1

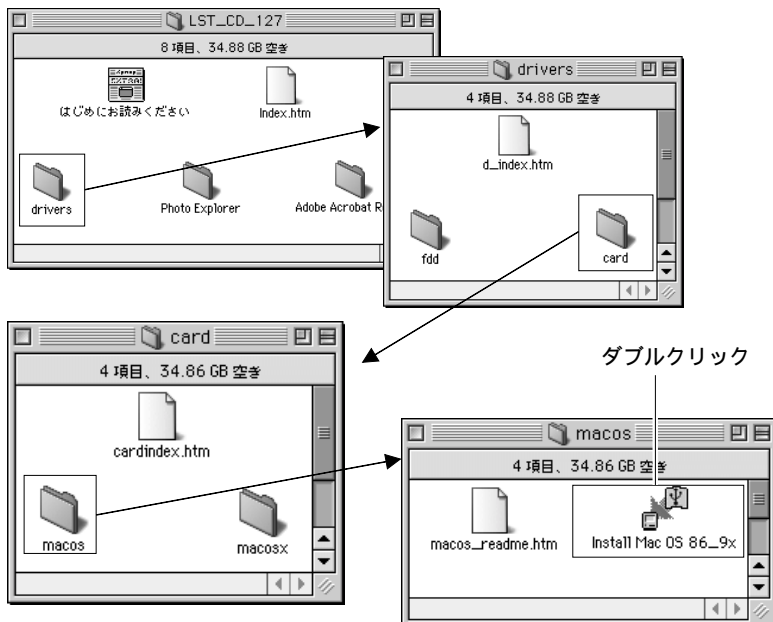
本製品を接続していない状態で、Mac OSを起動してください。

2

付属の「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットしてマウントされたアイコンをダブルクリックしてください。

3

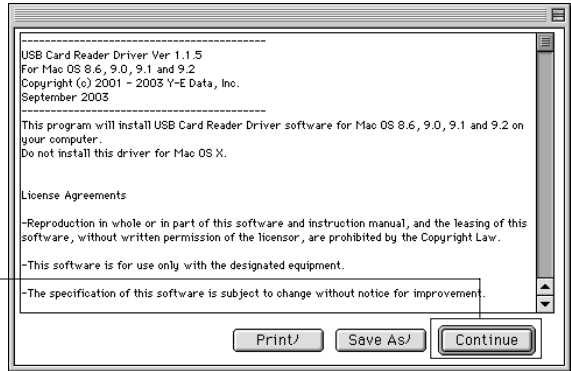
下のウィンドウが開いたら、「Drivers」「card」「macos」とフォルダを展開し、「macos」フォルダ内の「Install Mac OS 86_9x」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



4

バージョン情報、ライセンス等の情報が表示されます。「Continue」ボタンをクリックしてください。

「Continue」をクリック

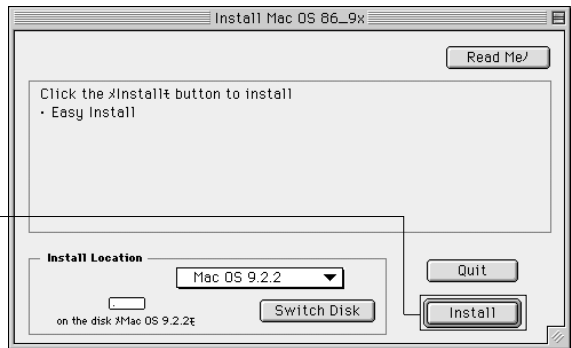


2

5

以下のウィンドウが表示されます。「Install」ボタンをクリックしてください。

「Install」をクリック

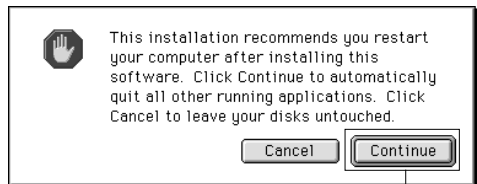


インストール先を変更したい場合は、「Install Location」欄より変更可能です。

6

確認のメッセージが表示されます。「Continue」ボタンをクリックしてください。

他にプログラム等が起動していないことを確認し、「Continue」をクリック



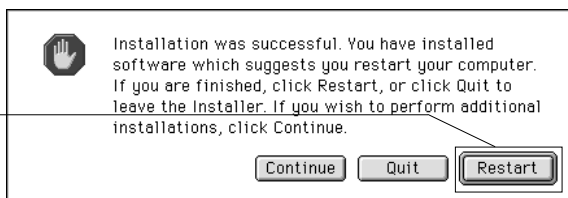
2.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

2.2.1 ドライバのインストール

7

必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると、下のウィンドウが表示されます。「Restart」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

「Restart」をクリック



2

8

システムが再起動されます。再起動が完了したら、ドライバのインストールは終了です。「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。この後は付属のUSBケーブルを使用して、本製品のUSB mini-B コネクタとコンピュータのUSB シリズ A ポートを接続してください。カードをメモリカードスロットにセットすると、対応するドライブのアイコンがデスクトップにマウントされアクセス可能となります。マウントされたアイコンをダブルクリックすると、カード上のファイルが表示されます。

Mac OS X でのインストール手順

Mac OS X 環境では、本製品を接続するだけでOS標準のドライバで動作しますが、Mac OS X 10.2以降の場合は以下の手順でドライバをインストールすると、各メモリカードをセットしたときにマウントされるアイコンを変更することができます。

Mac OS X 10.1.2 ~ 10.1.5 までの OS をご使用の方はドライバのインストールは必要ありません。

1

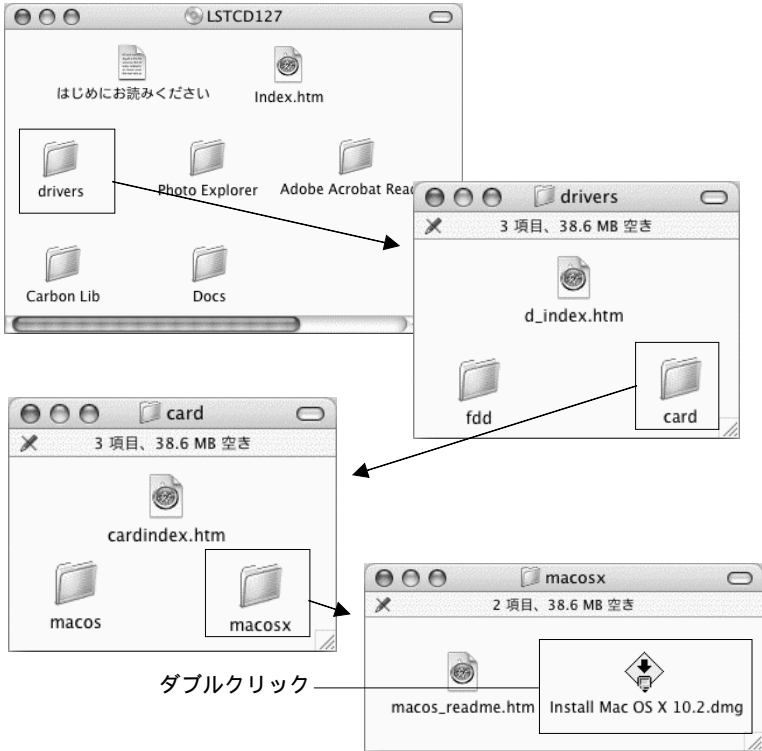
本製品を接続していない状態で、Mac OS X を起動してください。

2

付属の「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMを、CD-ROMドライブにセットしてください。

3

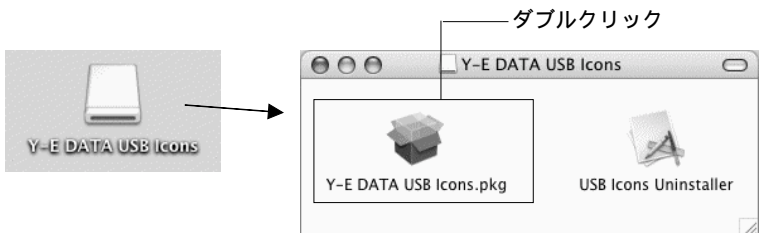
下のウィンドウが開きますので、「Drivers」「card」「macosx」とフォルダを展開し、「macosx」フォルダ内の「Install Mac OS X 10.2.dmg」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



2

4

「Y-E DATA USB Icons」と書かれたアイコンがデスクトップ上に表示されます。このアイコンをダブルクリックして開き、表示されるウィンドウ内の「Y-E DATA USB Icons.pkg」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



2.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

2.2.1 ドライバのインストール

5

以下のウィンドウが表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



「続ける」をクリック

6

インストール先の選択のウィンドウに切り替わります。インストール先のドライブをクリックし、「続ける」ボタンをクリックしてください。



1. インストール先の
ドライブをクリック

2. 「続ける」をクリック

7

以下のウィンドウが表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



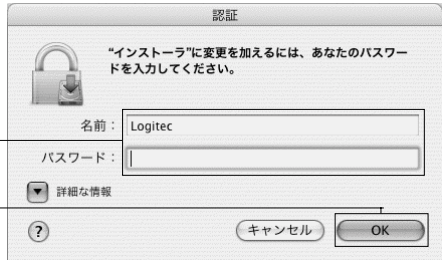
「インストール」をクリック

8

以下のウィンドウが表示されます。管理者として登録されているユーザーの「名前」と「パスワード」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

1. ユーザー名とパスワードを入力

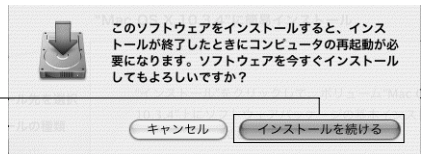
2. クリック



9

確認のメッセージが表示されます。他のプログラムが起動していないことを確認して、「インストールを続ける」ボタンをクリックしてください。

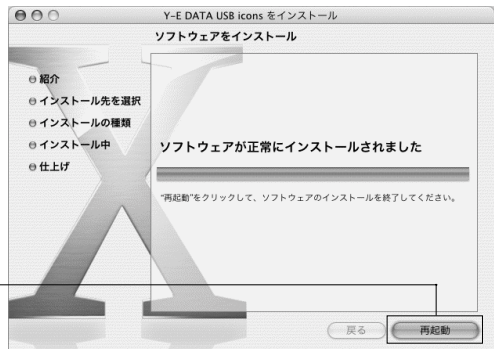
「インストールを続ける」
をクリック



10

インストールが終わると、以下のウィンドウが表示されます。「再起動」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

「再起動」をクリック



システムが再起動されます。再起動が完了したら、ドライバのインストールは終了です。「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。この後は付属のUSBケーブルを使用して、本製品のUSB mini-B コネクタとコンピュータのUSB シリーズ A ポートを接続してください。カードをメモリカードスロットにセットすると、対応するドライブのアイコンがデスクトップにマウントされアクセス可能となります。マウントされたアイコンをダブルクリックすると、カード上のファイルが表示されます。

2.2.2 使い方について

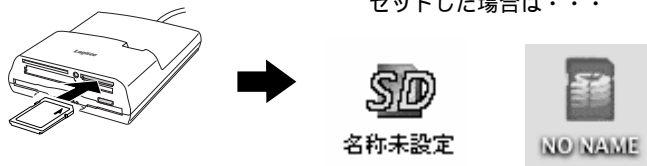
メモ리카ードのセットとアクセスについて

本製品の各スロットにメディアをセットすると、デスクトップ上に右下のようなアイコンが表示されます。

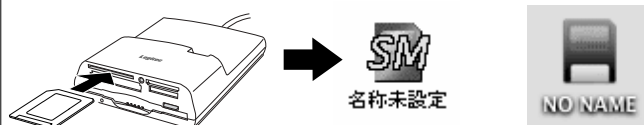
メモリスティックをセットした場合は・・・



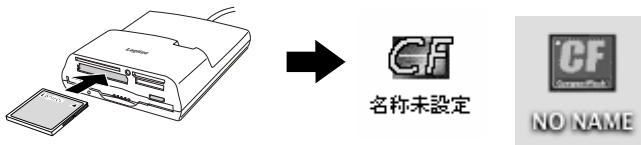
SDメモリーカード、マルチメディアカードを
セットした場合は・・・



SmartMedia カードをセットした場合は・・・



CompactFlash カードや microdrive をセットした場合は・・・



左側が Mac OS 9.2.2 以前で表示されるアイコン、右側が Mac OS X 10.2以降で本製品用のドライバをインストールした場合に表示されるアイコンとなります。

Mac OS X 10.1.2 ~ 10.1.5 の場合

Mac OS X 10.1.2 ~ 10.1.5 の環境ではどのメディアをセットしてもデスクトップには右のアイコンが表示されます。



ここでマウントされたアイコンは、フロッピーディスクのアイコンなどと同じように使用します。例えば、セットしたいメディアにアクセスしたい場合は、このアイコンをダブルクリックしてください。

2



ご注意

本製品にはオートイジェクト機能がないため、アイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしても、メディアをイジェクトすることはできません。(ただし、この操作はメディアを取り出すときに必要です。以下をご参照ください。)

メディアを取り出す場合は



メモリーカードスロットににセットしたメディアを取り出したい場合には、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・ デスクトップ上のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り出し」を選択する。(Mac OS X の場合は「ファイル」メニューの「取り出し」を選択)
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル + E」キーを入力する。

2.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

2.2.2 使い方について

いずれの方法でアンマウントした場合も、アクセス表示ランプが点滅していないことを確認し、アンマウント操作後数秒たってからメディアを取り外してください。

本製品を取り外す場合は

本製品はUSB インターフェースを採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONになっている状態での取り外し)が可能です。ただし、以下の点にはご注意ください。

本製品を取り外す場合は、必ずすべてのメディアをアンマウントして、本製品から取り出しておいてください。

2.2.3 補足事項

スリープ設定について

本製品はスリープには対応しておりません。以下の手順でスリープ設定を「しない」にして本製品をご使用ください。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の場合

「アップル」メニューから「コントロールパネル」 「省エネルギー設定」をクリック。

「省エネルギー設定」ウィンドウで「スリープ設定」タブが選択されていることを確認。

「スリープ設定までの非動作時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

Mac OS X 10.1.2 以降の場合

「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリック。

「システム環境設定」ウィンドウの一覧の中から「省エネルギー」をクリック。

「省エネルギー」ウィンドウで「スリープ」タブが選択されていることを確認。

「スリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してウィンドウを閉じます。

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットを Mac OS 上で行う場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用します。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

microdrive および CF Type HD カードの使用について

その他のメモリカードと一緒に microdrive および、CF Type HD カードを使用することはできません。microdrive または CF Type HD カードのみを本製品にセットしてご使用ください。

メモリカードをセットした状態での Mac OS の起動について

本製品にメモリカードをセットした状態で、Mac OS を起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。Mac OS の起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

キーボード上の USB ポートへの接続について

本製品をキーボード上の USB ポートに接続して使用することはできません。

第3章

Windows®環境でご使用になる場合

Windows CE をご使用の方は第4章をご参照ください

3.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

3.1.1 使用可能ディスクとフォーマット形式

Windows 環境で使用可能なディスクおよびフォーマット形式は下表の通りです。

Windows XP の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		×

Windows 2000 の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		
2DD	720 KB DOS / V		

Windows Me の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		

Windows 98 の場合

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		



ご注意

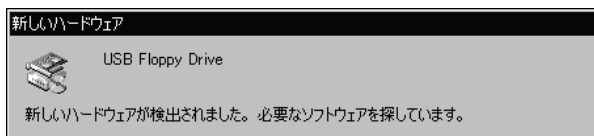
- ・ 2HD 1.25MB フォーマット済みディスクは、パソコン側の状況により、リード/ライトできないことがあります。
- ・ 市販バージョンのWindows であれば上表の通り、リード/ライト可能です。
- ・ Windows 98では2HD 1.25MBフォーマットディスクをリード/ライトするためには、パソコンの仕様により他の周辺機器(Compact Flashカードなど)を取り外さなければならないなどの制限がある場合があります。

3.1.2 接続とドライバのインストールについて

Windows Xp、Me、2000 の場合

Windows XP, Me, 2000 では、本製品のフロッピーディスクドライブのドライバがあらかじめインストールされています。本製品背面に直付けされている USB ケーブルのシリーズ A コネクタをパソコンの USB ポートへ接続してください。

自動的に認識されて、「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、ドライバが組み込まれます。(組み込みにはしばらく時間がかかります。また、このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)



ドライバが組み込まれ、「マイコンピュータ」のウィンドウに、新しい「3.5インチFD」のドライブアイコンが表示されれば、フロッピーディスクドライブが使用可能となります。本製品にフォーマットされたフロッピーディスクをセットして、このドライブアイコンをダブルクリックすると、フロッピーディスクにアクセスすることができます。

Point ポイント

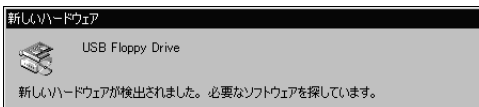
- ・本製品に割り当てられるドライブ名はパソコン環境によって異なります。以降の説明(取り外しの手順/フォーマット方法)では、「B:」ドライブが割り当てられているものとして説明されています。
- ・一度ドライバの組み込みが行われると、次回からはメッセージが表示されないで「マイコンピュータ」にドライブアイコンが追加されます。

3.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

3.1.2 接続とドライバのインストールについて

Windows 98 の場合

本製品背面に直付けされている USB ケーブルのシリーズ A コネクタをパソコンの USB ポートへ接続してください。Windows 98 が自動的に標準 USB ドライバをインストールし始めます。しばらくすると、本製品のフロッピーディスクドライブ用の USB ドライバをインストールするウィンドウが表示されます（このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります）。



「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「検索場所の指定」と書かれたチェックボックスにチェックマークをつけて、その他のチェックボックスはすべてチェックマークを外してください。

更に下のテキストボックスに「Q:\DRIVERS\FDD\WIN98」と入力してください。(ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は、正しいドライブ名を指定してください。)入力したら本製品付属のCD-ROMディスクをセットし、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「USB FDD」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



ドライバのインストールが完了した旨のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



3.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

3.1.2 接続とドライバのインストールについて

続いてもう一つのドライバをインストールするためのウィンドウが表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、手順と同じように「検索場所の指定」に「Q:\DRIVERS\FDD\WIN98」と入力されていること、CD-ROMドライブに本製品付属のCD-ROMディスクがセットされていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「更新されたドライバ(推奨)」のラジオボタンがON()になっている状態で、「次へ」ボタンをクリックします。



以下のように表示されたら、「USB FDD (VXD)」と表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



ドライバのインストールが完了した旨のウィンドウが表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



3.1 フロッピーディスクユニットを使用する場合

3.1.2 接続とドライバのインストールについて

以上でインストール作業は終了です。「マイコンピュータ」のウィンドウに、新しい「3.5インチFD」のドライブアイコンが表示されれば、フロッピーディスクドライブが使用可能となります。本製品にフォーマットされたフロッピーディスクをセットして、このドライブアイコンをダブルクリックすると、フロッピーディスクにアクセスすることができます。

Point

ポイント

- ・ 本製品に割り当てられるドライブ名はパソコン環境によって異なります。Windows 98 では本製品のドライブ名を指定することはできません。以降の説明（取り外しの手順/フォーマット方法）では、「B:」ドライブが割り当てられているものとして説明されています。ただし、パソコンにインストール済みのドライバを使用すると、まれに「A:ドライブ」固定となる場合があります。また、再起動後にドライブ名が変更される場合もあります。念のため、再起動してからご使用ください。
- ・ 一度ドライバの組み込みが行われると、次回からはメッセージが表示されずに「マイコンピュータ」にドライブアイコンが追加されます。

3.1.3 取り外しについて

USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品を取り外すことが可能です。ただし、いつでも取り外しが可能なわけではありません。

取り外しを行う前に、本製品にセットしたフロッピーディスク上のファイルが、アプリケーションなどから開かれていないことを確認し、フロッピーディスクを本製品から取り出しておいてください。Windows 98をご使用の場合はこの状態で取り外しが可能となります。

Windows XP、Me、2000をご使用の場合は、この後以下の手順にて取り外しを行ってください。

取り外し手順 (Windows XP、Me、2000)

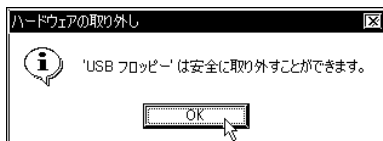
本製品を接続した状態では、画面下のタスクバーにハードウェアの安全な取り外しアイコンが表示されます。このアイコンを1回クリックすると、以下のようにメッセージが表示されますので、マウスマウスカーソルをメッセージに合わせてクリックしてください。(このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)

Windows Me の例



「USB フロッピー」は安全に取り外すことができます、もしくは「Y-E Data USB Floppy」は安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、本製品を取り外ししてください。(このときのメッセージは、以下の画面と異なる場合があります。)

Windows Me の例



Windows Me、2000では「OK」ボタンをクリックして、メッセージをクローズします。

Windows XPでは、フキダシのメッセージは数秒間表示された後、自動的に消えるのでここでは何もする必要はありません。

3.1.4 フォーマットについて

フロッピーディスクのフォーマットはOS標準のフォーマットプログラムを使用して実行可能です。フォーマットプログラムはマイコンピュータ上で本製品のアイコン「3.5インチFD (B:)」を右クリックして表示されるメニューから「フォーマット」を選択すると起動します。

フォーマット方法についてはWindowsのヘルプをご参照ください。

3.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

3.2.1 接続/インストールの際の注意

Windows XP、Windows 2000 SP3以降、Windows Me をご使用の場合はOS標準のドライバで動作が可能です。以下の手順に従ってインストールを行うことにより、スロットアイコンの変更を行うことができます。

Windows 2000 SP 2以前、Windows 98をご使用の場合は、必ず以下の手順でドライバのインストールをする必要があります。

3.2.2 ドライバのインストール

Windows XP、2000 をご使用の場合は、管理者権限を持つユーザー（例え「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしてください。

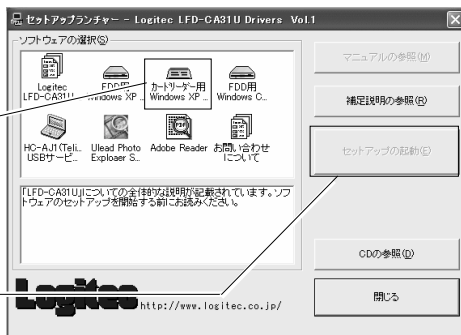
1

付属の「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットしてください。

2

自動的にセットアップランチャー（以下のウィンドウ）が起動します。

- 「カードリーダー - 用 Windows xx ドライバ」と書かれたアイコンを1回クリックして選択状態にして、**xx**の部分にはご使用のOSのバージョンが入ります。



- 「セットアップの起動」をクリックしてください

Point

ポイント

自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

説明に使用する画面はWindows XPのものですが、表示される内容は他のOSでも同じです。

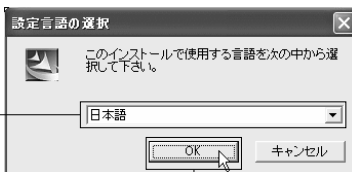
3.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

3.2.2 ドライバのインストール

3

言語選択のダイアログが表示されます。「日本語」を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「日本語」を選択



2. 「OK」をクリック

4

インストーラが起動し、以下のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック

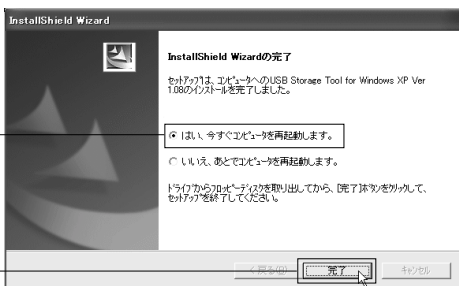


5

必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。

1. 「はい、今すぐコンピュータを・・・」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、

2. 「完了」ボタンをクリック







システムが再起動されます。再起動が完了したら、ドライバのインストールは終了です。「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。この後、付属のUSBケーブルを使用して、本製品のUSB mini-BコネクタとコンピュータのUSBシリーズAポートを接続してください。





登録されるアイコンについて

本製品のメモリーカードスロット部分が自動的に認識され、マイコンピュータに以下のようなドライブアイコンが追加されます。

Windows XP SP 1 の場合

CompactFlash スロット	SmartMedia スロット
 Compact Flash Drive (E) リムーバブル ディスク	 Smart Media Drive (F) リムーバブル ディスク
メモリースティックスロット	SDメモリーカードスロット
 Memory Stick Drive (G) リムーバブル ディスク	 SD Card Drive (H) リムーバブル ディスク

Windows Me、98、2000 の場合

CompactFlash スロット	SmartMedia スロット
 Compact Flash Drive (E)	 Smart Media Drive (F)
メモリースティックスロット	SDメモリーカードスロット
 Memory Stick Drive (G)	 SD Card Drive (H)

各メディアをセットして、対応するアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

ドライブ名は環境により異なります。

Windows XP に Service Pack が導入されていない場合は、ボリューム名のみ変更になります。

Windows 98 では、全てのスロット名が「リムーバブルディスク」と表示されます。

3.2.3 メディアの取り出しについて

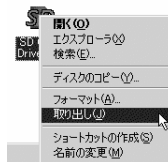
本製品にセットしたメモリカードを取り出す場合は、以下のような点にご注意ください。

取り出す前に、メモリカードに保存されているデータファイルなどが開かれていないことを確認してください。

取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、メディアの取り出しは行わないでください。

Windows Me,98の場合は、上の点を確認後、マイコンピュータでメモリカードをセットしているスロットのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択し、数秒してからカードを取り出してください。



Windows XP,2000の場合は、一定の手順で取り出しを行う必要があります。手順については、以下の「Windows XPでの取り出し手順」「Windows 2000での取り出し手順」をそれぞれご参照ください。

Windows XP での取り出し手順

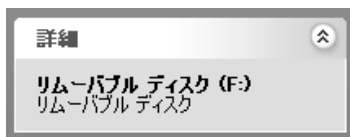
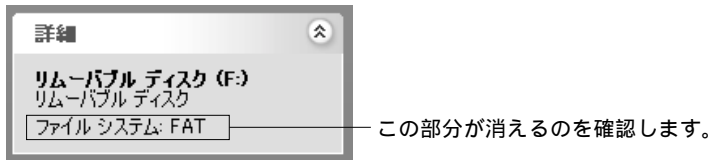
まず最初に、メモリカードに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなどの注意事項に問題がないことを確認してください。

「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。



「取り出し」をクリックした後、「詳細」ウィンドウの表示が以下のように変化することを確認してください。



手でメディアをスロットから取り出してください。

3.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

3.2.3 メディアの取り出しについて

Windows 2000 での取り出し手順

まず最初に、メモリカードに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなど、注意事項に問題がないことを確認してください。

「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。クリックした後、「リムーバブルディスクをドライブから取り出します。」のメッセージが消えるまでお待ちください。(このメッセージが表示されている間は、取り出し作業は完了していません。)

3

「取り出し」を
クリック



このメッセージが消えるまで待ちます

確認後、手でメディアをスロットから取り出してください。

3.2.4 取り外しについて

本製品はUSBインターフェースを採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONになっている状態での取り外し)が可能です。ただし、以下のような点にご注意ください。

本製品を取り外す前に、すべてのメモ리카ードを正しい手順で取り出しておいてください。

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、本製品の取り外しは行わないでください。

Windows XP, Me, 2000の場合は、一定の手順で取り外しを行う必要があります。手順については、以下をご参照ください。

Windows XP, 2000での取り外し手順

本製品にメモ리카ードがセットされていないことなど、前述の注意事項に問題ないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックしてください。

Windows XPで表示されるアイコン



Windows 2000で表示されるアイコン



このアイコンをダブルクリック

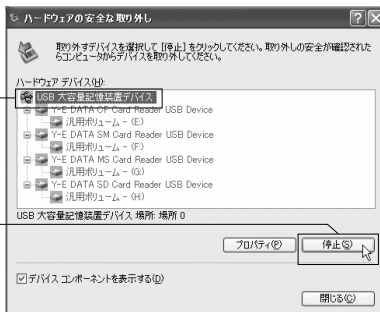
3.2 メモリカードリーダー/ライターユニットを使用する場合

3.2.4 取り外しについて

Windows XP では「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウが表示されます。

1. 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリック

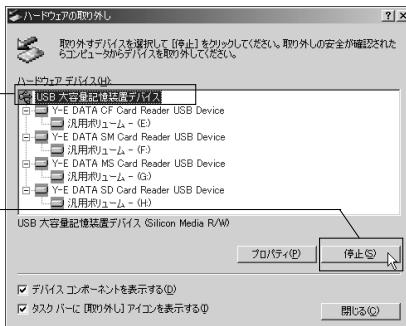
2. 「停止」をクリック



Windows 2000 では「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。

1. 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリック
「USB Storage Driver for Win2000」と表示される場合もあります。

2. 「停止」をクリック



「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。

Windows XP では「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウに戻りますので「閉じる」ボタンをクリックしてから、本製品を取り外してください。

Windows 2000 では

- ・ 「'USB大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」または
 - ・ 「'USBStorage Driver for Win2000' は安全に取り外すことができます。」
- と表示されますので、「OK」ボタンをクリックして、本製品を取り外してください。

「ハードウェアの取り外し」ウィンドウに戻りますので「閉じる」ボタンをクリックしてください。

以上で本製品の取り外し作業は終了です。

Windows Me での取り外し手順

本製品にメモリカードがセットされていないことなど、前述の注意事項に問題ないことを確認してください。

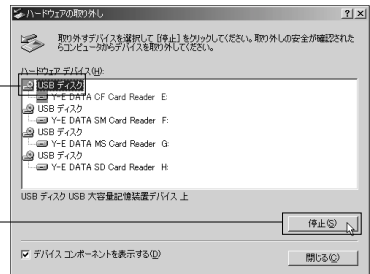
本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



「ハードウェアの取り外し」のウィンドウが表示されます。「USB ディスク」をクリックしてから、「停止」ボタンをクリックしてください。

1. クリック
2. 「停止」をクリック



カードリーダー/ライターユニット本体を取り外す場合、「ハードウェアデバイス」のリストボックスに表示されている「USB ディスク」(4つ)を全て停止する必要があります。

「ハードウェアデバイスの停止」のウィンドウが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください



「USB ディスク」は安全に取り外すことができます。」と表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

「ハードウェアの取り外し」のウィンドウに戻りますので、手順 から にしたがって「USB ディスク」(残り3つ)の停止を行ってください。

全ての「USB ディスク」(4つ)の停止が終了したら、カードリーダー/ライターユニットを取り外してください。

「ハードウェアの取り外し」のウィンドウに戻りますので、「閉じる」ボタンをクリックしてください。以上で取り外し作業は終了です。

3.2.5 メモリカードご使用の際の注意事項

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットをWindows上で行いたい場合は、「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

microdriveおよびCF Type HDカードの使用 について

その他のメモリカードと一緒に microdrive および、CF Type HDカードを使用することはできません。microdrive または CF Type HDカードのみを本製品にセットしてご使用ください。

メモリカードをセットした状態での Windows の起動について

本製品にメモリカードをセットした状態で、Windowsを起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。Windowsの起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

第4章

Windows® CE 環境で ご使用になる場合



Windows CE 環境では、フロッピーディスクユニットのみ使用可能となります。メモ리카ードリーダー/ライターユニットは使用できません。

4 . 1 使用環境

パソコン環境

本製品は以下のUSBポート搭載ハンドヘルドパソコンに接続することができます。

株式会社日立製作所	PERSONA	HPW-650PA
	HPW-600JC	HPW-600JCM (*1)
シャープ株式会社	Telios	HC-AJ1, HC-AJ2 (*1)
	HC-AJ3 (*1)	HC-VJ1C (*1)
	HC-VJ2C	(*1)
日本 HP 株式会社	HP Jornada 820	F1260A #ABJ
日本電気株式会社	Mobile Gear II	MC-R700
		MC/R730
		MC/R730F (*1)
日本ビクター株式会社	InterLink	MP-C101
		MP-C102 (*1)
		MP-C303-A
		MP-C303-D
		MP-C304-B
富士通株式会社	INTERTOP CX310	IT310
	PenCentra 130	PENCE130

*1 これらのハンドヘルドパソコンはドライバがインストール済みです。接続するだけでご使用いただけます。そのため、本書の4 . 2 節はとばして4 . 3 節からお読みください。



ご注意

ドライバがインストール済みでないハンドヘルドパソコンで本製品を使用するためには、次のどちらかの環境が必要です。

- a: ハンドヘルドパソコン付属の「ActiveSync」または、「WindowsCE サービス (ソフトウェア)」が対応している、ホスト (メイン) となるパソコン。
 - b: インターネット上の弊社ホームページよりダウンロードするための環境。
-

使用可能ディスクとフォーマット形式

本製品で使用可能なメディアは下表で のついたものです。

メディア	フォーマット形式	リード/ライト	フォーマット
2HD	1.44 MB DOS / V		
	1.25 MB PC - 9800		×
2DD	720 KB DOS / V		



ご注意

- ・ 2HD 1.25MB フォーマットディスクは、パソコン側のサポート状態により、リード/ライトができない場合があります。
 - ・ 2HD 1.25MB フォーマットディスクをリード/ライトするためには、パソコンの仕様により他の周辺機器 (Compact Flash カードなど) を取り外さなければならないなどの制限がある場合があります。
-

4.2 ドライバのインストール

Point

本製品を使用する場合は、本製品を接続する前に付属のドライバをインストールしなければなりません。本章ではWindows CE 上から本製品のドライバをインストールする方法を説明します。

インストールの方法には2つの方法があります。

ホストパソコンを使用してドライバをインストールする

「4.2.1 ホストパソコンを使用する場合」へ

ドライバをダウンロードしてインストールする

「4.2.2 ドライバをダウンロードする場合」へ

**ご注意**

パソコンメーカーより「アップデートプログラム」などが提供されている場合は、ドライバをインストールする前に導入しておいてください。

例) SHARP Telios の場合:

HC-AJ1 サービスパック 1、

HC-AJ1 USB サービスパック(*1)

NEC Mobile Gear の場合:

ソフトウェアキーボードドライバ修正版

*1シャープ株式会社のご好意により、「HC-AJ1 USBサービスパック」を本製品付属のCD-ROMに収録しております。収録先フォルダは、「DRIVERS¥LFD31U¥WINCE¥テリオス用」フォルダです。「HC-AJ1 USB サービスパック」の詳細については、シャープ株式会社にお問い合わせください。

4.2.1 ホストパソコンを使用する場合



ご注意

ここでは、ホストパソコンにインストールされているOSが、Windows XP / Me / 98 / 95 / 2000 / NT 4.0であることを前提としています。これ以外のOSをご使用の際には、以下のインストール作業を行わないでください。

ハンドヘルドパソコンに対するホストパソコンを用意できない場合は、「4.2.2 ドライバをダウンロードする場合」の手順でインストール作業を行ってください。

ActiveSync のインストール

ホストパソコンとハンドヘルドパソコンを接続し、ご使用のホストパソコンに、ハンドヘルドパソコン付属の「ActiveSync」をインストールしておきます。



ポイント

ActiveSync や Windows CE サービスについての詳しい内容については、ハンドヘルドパソコン付属のマニュアルをご参照下さい。マイクロソフト社からも、接続ソフトウェアの新版が提供されています。

ドライバのインストール



ご注意

ドライバのインストールが完了するまで、本製品を接続しないでください。

「ホストパソコン」に本製品付属の「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROMをセットします。

Point

ポイント

ここで、CD-ROMドライブの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動します。この場合は次のステップを実行しないで、ステップに進んでください。

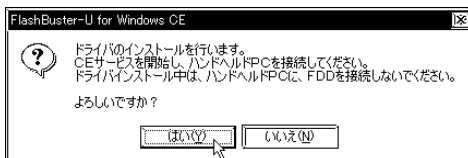
デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、さらにCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

セットアップランチャーが起動して次のウィンドウが表示されます。(この画面は、ホストパソコンで使用しているWindowsによって若干表示される項目が異なります。)ここで「FDD用 Windows CE ドライバ」と書かれたアイコンをクリックして選択状態にし、「セットアップの起動」ボタンをクリックしてください。

3



インストール確認ウィンドウが表示されます。ホストパソコンにハンドヘルドパソコンが接続されていることを確認して、「はい」をクリックします。



4.2 ドライバのインストール

4.2.1 ホストパソコンを使用する場合

インストール作業が開始されます。しばらくすると終了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



USBDFMT

以上で、ドライバのインストールは終了です。ドライバのインストールを行うと、専用フォーマットもハンドヘルドパソコンにインストールされます。ハンドヘルドパソコンの「マイハンドヘルドPC」の「Windows」フォルダに「USBDFMT」ファイル（左欄のアイコン）がコピーされていることを確認してください。この専用フォーマットについては、「4.4 補足事項」をご参照ください。

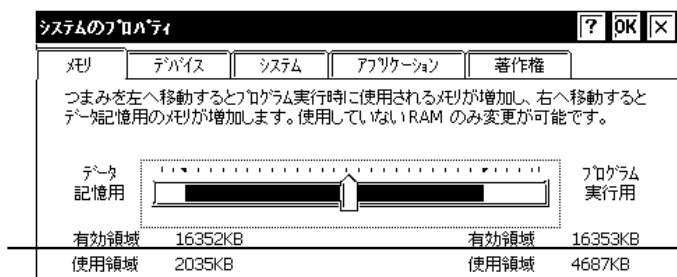
3

4.2.2 ドライバをダウンロードする場合



ご注意

- ・以下の手順はハンドヘルドパソコンがインターネットに接続できる前提で説明されています。
- ・ドライバのインストールが完了するまで、本製品を接続しないでください。
- ・ハンドヘルドパソコンのデータ記憶用メモリが不足していると、ドライバが正確にダウンロードできません。「システムのプロパティ」で確認しておいてください。



ドライバのインストール

ブラウザを起動してインターネットに接続し、ロジテックのホームページ（<http://www.logitech.co.jp/>）からドライバをダウンロードします。ダウンロードファイルは「¥temp」フォルダに保存するようお願いされます。以下の説明は、ダウンロードファイルが「¥temp」フォルダに保存されていることを前提としています。

Point

ポイント

ドライバは、弊社のホームページ（<http://www.logitech.co.jp/>）の「ダウンロード」コーナーにアップロードされています。（ファイルは圧縮されていますが、以下の手順に従うと自動的に解凍されます。）

「スタート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」のウィンドウが表示されたら、「¥TEMP¥xxx.CAB」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。（ここで、「xxx」はダウンロードしたファイル名です。ファイル名はバージョンなどにより異なりますので、ダウンロード時に確認してください。）

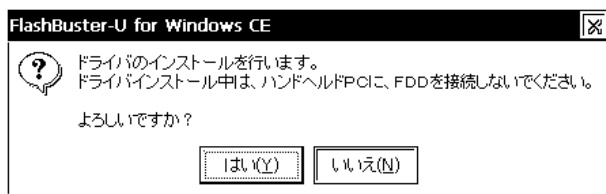
「スタート」ボタンをクリックして、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「ファイル名を指定して実行」のウィンドウが表示されたら、「¥TEMP¥LFD31U¥INSTFBU.EXE」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。



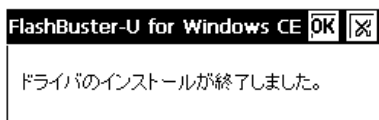
4.2 ドライバのインストール

4.2.2 ドライバをダウンロードする場合

インストール確認ウィンドウが表示されます。よろしければ「はい」をクリックします。



インストール作業が開始されます。しばらくすると終了メッセージが表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



USBDFMT

以上で、ドライバのインストールは終了です。ドライバのインストールを行うと、専用フォーマッタもハンドヘルドパソコンにインストールされます。ハンドヘルドパソコンの「マイハンドヘルド PC」の「Windows」フォルダに「USBDFMT」ファイル（左欄のアイコン）がコピーされていることを確認してください。この専用フォーマッタについては、「4.4 補足事項」をご参照ください。

4.3 接続について

ドライバのインストールが終了したら、本製品背面に直付けされているUSBケーブルのシリーズAコネクタをハンドヘルドパソコン本体のUSBポートへ接続してください。接続はパソコンの電源がONになっている状態で行って構いません。自動的にドライバが組み込まれ、本製品が使用できる状態になります。



ご注意

- ・ドライバがインストールされていない状態のままフロッピーディスクユニットを接続すると、間違ったドライバがインストールされる場合があります。必ず、ドライバをインストールした後、フロッピーディスクユニットを接続するようにしてください。
- ・本製品をUSBハブ経由で接続することはできません。必ずパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。
- ・本製品はUSBポートより電源供給を受けるため、ハンドヘルドパソコンにACアダプタを接続しないとバッテリーが急激に消耗します。
- ・ドライバをインストールした後、本製品を接続しても、ドライバを要求するメッセージが表示される場合があります。このような場合は、ハンドヘルドパソコンを「ソフトリセット」してください。ソフトリセットの方法はハンドヘルドパソコン付属のマニュアルをご参照ください。



参考

日本電気株式会社「Mobile Gear (MC-R700など)」の場合、ハンドヘルドパソコンに正しく接続できるとタスクバーにUSBのアイコンが追加されます。



USBのアイコン

4 . 4 補足事項

フロッピーディスクの認識

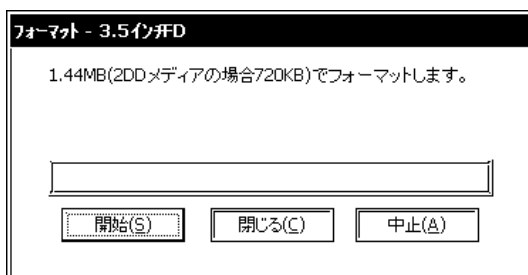
ハンドヘルドパソコンの場合、本製品にフォーマット済みのフロッピーディスクをセットすると、「マイハンドヘルドPC」フォルダの中に「メモリカード」として表示されます。これは正常な表示で、この状態でファイルなどのリード/ライトができます。



メモリカード

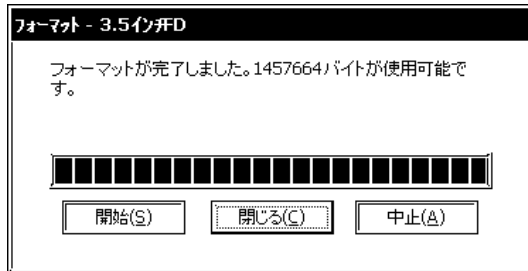
フロッピーディスクのフォーマット

フロッピーディスクをフォーマットするためには、「Windows」フォルダの「USBDFMT」を使用します。ダブルクリックすると専用フォーマッタが起動します。また、未フォーマットのフロッピーディスクを本製品にセットすると、専用フォーマッタが自動起動します。



このままフォーマットする場合は、「開始」ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、メッセージが表示されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。(画面は、2HD 1.44MBのフォーマットが完了したところです。)

**Point**

ポイント

デスクトップ上に「USBDFMTへのショートカット」を作成しておく
と便利です。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

5.1.1 フロッピーディスクユニットに関するトラブル

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品を WindowsCE H/PC Pro3.0 環境で使用する場合、USB ハブ経由で接続することはできません。パソコン本体のUSBポートに直接接続してください。

本製品からシステム起動ができない。

USBは通常BIOSの管理下にありませんのでUSB接続された記憶装置からのシステムの起動はできません。しかし、最近では、多くのパソコンのBIOSに改良が加えられ、本製品でもシステム起動ができるようになっていきます。起動ができるか、できないかはパソコン側のBIOS仕様によります。

2HD 1.25MB フォーマットのディスクが読み込めない。

コンパクトフラッシュカードを併用していませんか？ パソコン本体によってはコンパクトフラッシュカードを併用すると、2HD 1.25MBのフロッピーディスクにアクセスできない場合があります。コンパクトフラッシュカードを取り外してみてください。

パソコン本体によっては、パソコン自体が2HD 1.25MBのフロッピーディスクをサポートしていない場合があります。

Windows XPを起動した直後に、1.25MBフォーマット済みフロッピーディスクをセットしたときに、ファイルを読み出すことができません。起動した直後には、1.44MBフォーマット済みフロッピーディスクをセットし、エクスプローラなどでアクセスし、その後1.25MBフロッピーディスクに入れ替えてご使用ください。

フロッピーディスクのフォーマットができない。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？
OSによりサポートされていないサイズのFDをフォーマットしようとしていませんか？
ご使用のOSでサポートされているフォーマット形式をご確認ください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。
アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

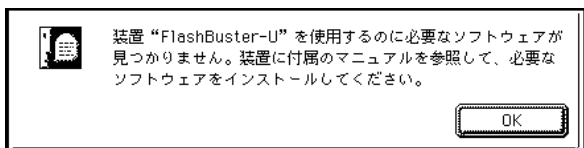
デスクトップパソコンに比べ、リード/ライトが遅い。

パソコン本体の処理速度、USBのデータ転送速度等の制限により、等倍速のUSBフロッピーディスクユニットの場合、パフォーマンスはデスクトップパソコン内蔵のフロッピーディスクより若干遅くなる場合があります。恐れ入りますが、ご了承ください。

ハンドヘルドパソコンでフロッピーディスクのフォーマットができない。または、「問題が発生した」と表示される。

フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか？
何かの原因で、フォーマットに必要なユーティリティやドライバが破損した可能性があります。再度インストールを試みてください。

Macintosh環境で本製品を接続すると、以下のようなエラーメッセージが表示される。

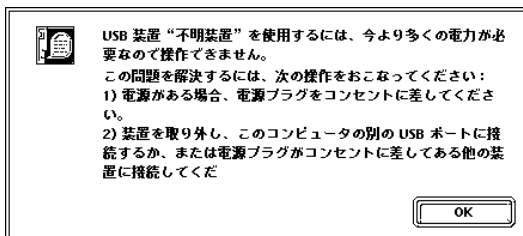


本製品のドライバがインストールされていません。2.2節にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

5.1 トラブルシューティング

5.1.1 フロッピーディスクユニットに関するトラブル

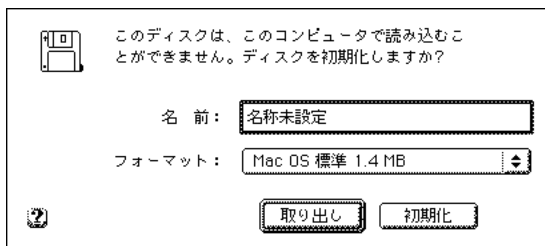
Macintosh環境で本製品を接続すると、以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品を Macintosh シリーズのキーボードの USB コネクタに接続していませんか？ キーボードの USB コネクタは、本製品の接続には使用できませんので、Macintosh 本体の USB コネクタに接続してください。

本製品の接続に USB ハブを使用している場合は、USB ハブをセルフパワー（AC アダプタなどを接続して、USB ハブに独立した電源を取ること）で使用してください。

Macintosh環境で本製品に特定のフロッピーディスクをセットすると、以下のようなウィンドウが表示される。



そのフロッピーディスクは本製品でサポートしていない形式（例えば Macintosh 用の 2DD 800KB フォーマット、もしくは PC-9800 用の 2HD 1.25MB フォーマットなど）でフォーマットされています。「取り出し」と書かれたボタンをクリックしてから、本製品のイジェクトボタンを押してフロッピーディスクを取り出し、内容を確認してください。

Macintosh環境で特定アプリケーションのインストーラでフロッピーディスクの交換ができない。

そのインストーラは従来のMacintoshシリーズ内蔵型フロッピーディスクドライブを前提として作成されています。申し訳ありませんが、このタイプのソフトウェアは本製品では使用できません。

Macintosh環境で本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-FD Driver

Logitech USB-FD Shim

5 . 1 . 2 メモリカードリーダー/ライターユニットに関するトラブル

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。本製品を別のUSBポートに接続して試してください。

本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接接続して試してみてください。

システム起動の際、本製品にメモリーカードをセットして接続しませんでしたか？メモリーカードをセットした状態でシステムを起動または再起動すると、本製品が認識されない場合があります。一度メモリーカードを外して再起動してみてください。

microdriveまたはCF Type HDカードを他のメモリーカードと一緒に使用しようとしていませんか。microdrive、CF Type HDカードは他のメモリーカードと一緒に使用できません。他のメモリーカードを外してアクセスしなおしてください。

5.1 トラブルシューティング

5.1.2 メモリカードリーダー/ライターユニットに関するトラブル

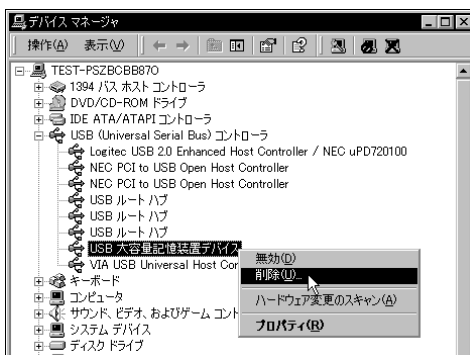
Windows 2000環境でメモリカードリーダー/ライターユニットを接続したがCompactFlash スロットしか認識されない。

Windows 2000 ServicePack 2 以前の環境で本製品のドライバをインストールせずに接続した場合、このような現象が発生します。この場合、以下の手順で、接続時に自動的にインストールされた標準ドライバを削除して、付属の「Logitech LFD-CA31U Drivers」CD-ROM より、本製品専用のドライバをインストールしてください。

標準ドライバの削除手順

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックして「デバイスマネージャ」ウィンドウを表示させます。

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB大容量記憶装置デバイス」を右クリックして表示されるプルダウンメニューから「削除」をクリックします。



「USB大容量記憶装置デバイス」が削除されたのを確認後、クロースボックスをクリックして「デバイスマネージャ」を閉じ、本製品を取り外します。

以上で標準ドライバの削除作業は終了です。この後は「3.2.2 ドライバのインストール」へ戻り、本製品のドライバのインストールを行ってください。

Windows 環境でメディアをセットして「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックしたら、「デバイスの準備ができていません」というエラーが発生した。

メモリカードをセットしたままWindowsを起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリカードを取り外してWindowsを再起動してみてください。間違ったアイコンをダブルクリックしていないことを確認してください。

メモリカードを一度取り出して、接点にゴミなどが付着していないかどうかを確認してください。問題ない場合は、しっかりとセットして、もう一度試してみてください。

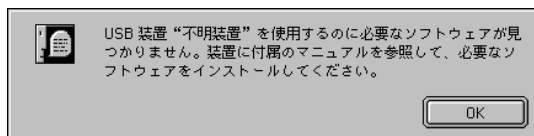
データ転送速度が遅い

USB2.0のポートに正しく接続されていますか。

USB1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed（最大理論値 12Mbps）までとなります。High-Speed（最大理論値 480Mbps）で転送を行なうにはUSB2.0ポートに接続しなおしてください。

パソコン本体にUSB2.0ポートがない場合は別売りのUSB2.0インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB2.0インターフェイスカード）を接続してドライバのインストールを行なってから、接続しなおしてみてください。

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第2章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Macintosh シリーズで本製品のアイコンがデスクトップにマウントされなくなった。

メモリーカードをセットしたまま Mac OS を起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外して OS を再起動してみてください。

特定のメディアに書き込みだけができない。

メモリースティック、SDメモリーカードや SmartMedia には、ライトプロテクト（書き込み禁止）の機能があります。書き込みが禁止されていないかどうかを確認してください。

特定のメディアをアクセスできない。

そのメディアをフォーマットしたデジタルカメラ等にメディアを戻して、そのメディアが認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメディアはフォーマットが壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行ってください。

本製品でフォーマットしたメディアをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行うことです。（再フォーマットを行うと、そのメディアに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行ってください。）

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能を OFF にしてご使用ください。また、USB 2.0 インターフェースボードを接続している場合は USB 2.0 インターフェースボードがスリープをサポートしているかどうかご確認ください。

5 . 1 . 3 その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LFD- CA31U	
フロッピーディスクユニット仕様			
インターフェース	USB 1.1		
コネクタ形状	USB シリーズ A (ケーブル直付け)		
対応メディア	3.5型2HD FD 3.5型2DD FD (DOSフォーマットのみ)		
対応フォーマット	1.4MB (Macintoshフォーマット) 1.44MB (DOSフォーマット) 1.25MB (DOSフォーマット) 720KB (DOSフォーマット)		
ディスク回転数	300rpm		
平均シークタイム	120 ms		
最大データ転送速度	12 Mbps		
最大消費電流	500 mA		
メモリーカードリーダー/ライターユニット仕様			
インターフェース	USB 2.0		
コネクタ形状	USB mini-B		
搭載スロット	メモリースティック / メモリースティックPRO用 ×1 SDメモリーカード / MMC用 ×1 コンパクトフラッシュ / マイクロドライブ / CF Type HDカード用 ×1 スマートメディア用 ×1		
使用可能メモリーカード	メモリースティック、メモリースティックPRO SDメモリーカード、MMC (マルチメディアカード) コンパクトフラッシュ (CompactFlash) マイクロドライブ (microdrive) CF Type HD カード スマートメディア (SmartMedia)		
最大データ転送速度	480 Mbps		
最大消費電流	350 mA		
共通仕様			
環境条件 *1	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90 %
	使用時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
入力電圧		DC+5V ± 5% (バスパワー)	
外形寸法	幅 × 高さ × 奥行き	102 × 32 × 140 mm	
	質量	310 g	

*1 ただし結露なきこと。

Memo

保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障がどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。

L-site <http://www.logitec.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

サポート / 修理受付窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022 FAX. 0570-033-034

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）、ひかり（光）電話はご利用になれません。

弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受入口）

TEL : 0265-74-1423 FAX : 0265-74-1403

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

Logitech USB FD ユニット・ユーザーズマニュアル

2006年

4月改訂

LFD-CA31U V02

製造元：ロジテック株式会社



<http://www.logitech.co.jp/>